

どこか懐かしく、
安心できる場所。
あなたにとつての
見つけに、鹿島所
に行こう。



-祐徳稻荷神社-

なつかしま

なんだか、心温まる。



-肥前浜宿-



-ゲストハウスまる-



肥前浜駅
(現在地)



-千瀬-

潮頭酒造



矢野酒造



肥前鹿島駅



▼至 太良・諫早

心安らぐ場所を、見つけに行こう。



祐徳稻荷神社

日本三大稻荷の1つ。境内は、楼門や神楽殿、本殿などで構成され、豪華で鮮やかな外観から「鎮西日光、すなわち九州の日光東照宮と呼ばれている。季節に合わせた様々なイベントも開催されており、年間の参拝者は約300万人で、九州では太宰府天満宮の次に多い人数。他にも奥の院へと続く数多の赤い鳥居と、四季折々の風景を楽しむことができる庭園、神社の参道にある門前商店街など、見どころ満載の神社である。

肥前浜宿

江戸時代から昭和時代にかけて酒や醤油などの醸造業を中心に発展した地域。

現在は3つの酒造が製造を続けていて、「酒蔵通り」と呼ばれている。白壁の美しい建物が建ち並んでおり、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。

また、移住を検討している人のための、一定期間滞在するという制度があり、鹿島市への移住を勧める活動も行われている。



酒蔵

鹿島市には、6つの酒造(峰松酒造場、幸姫酒造、光武酒造場、矢野酒造、富久千代酒造、馬場酒造場)があり、古くから酒造りが盛んな土地である。鹿島では、「酒造ツーリズム」が行われており、鹿島市にある6つの酒蔵をバスや徒步でまわり、お酒だけでなく食や文化、歴史まで楽しむ旅のスタイルである。ツーリズムの日程に合わせて、様々な祭りが同時開催される。



漬物屋

明治時代初期に創業して100年以上経過する老舗の漬物屋。

地元の野菜を使用したその時その時の旬の漬物が販売されている。

ただ漬物を販売しているだけではなく、広い蔵の中には椅子やソファーが置かれていて、レトロな落ち着いた雰囲気をつくりあげている。

